

【参考資料】平成22年度 実績報告(中濃森プロJV)

作成日:平成23年4月25日

施業集約化	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	5ha	48.18ha	967%	H23予定:0ha	集約化により施業地確保
いつ	6月~8月	5月~12月	/	4月より随時集約化	
誰が	林郁夫	林郁夫		支所の職員も対応	
どういつ方法で	現地検討会(3回) 地区座談会(3回)	現地検討会(1回) 地区座談会(1回)		施業提案書を積極活用し個別訪問による集約化、地域研修会を積極的に開催して施業地を集約化 モデル林見学会を開催(6月~8月)	集約化実施計画を作成し実施。

間伐	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	20ha(切捨) 25ha(利用)	39.39ha(切捨) 8.79ha(利用)	197.0% 35.2%	H23予定:45ha (切捨20ha、利用25ha)	団地外実績:(利用18.41ha、作業路開設1,695m)
いつ	9月~3月	6月~3月	/	梅雨、降雪期間を含めて、通年間伐を実施	
誰が	カネキ野村木材店(利用)中濃森林組合(切捨)	カネキ野村木材店(利用)中濃森林組合(切捨・利)		カネキ野村木材店、中濃森林組合林産班(利用)中濃森林組合(切捨)	林産班の技術向上
どういつ方法で	既設道を起点に作業路開設を開設し定性間伐	既設道を起点に作業路開設を開設し定性間伐		既設道を起点に作業路開設を開設し定性・列状間伐	

作業道(路)開設	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	W=3.0m,L=1,300m	0	0%	H23予定:1,100m(造林作業路3級)	開設費:2,400円/m 団地外実績:1,695m開設
いつ	4月~9月		/	通年開設	
誰が	カネキ野村木材店			カネキ野村木材店が実施	
どういつ方法で	設計・施工・管理:森林組合			災害に強い作業路開設	

素材生産	新規チーム設立(H19)	内容			
新規構築作業システム(機械の組合せ、種類・規格・台数)		伐倒:チェンソー → 集材:(新規)スイングヤーダ(0.45) → 造材:(新規)ハーベスタ(0.45) → 積込:グラブ(0.45) → 運搬:フォワーダ(6t) → 積込:(再掲)グラブ(0.45) → トラック(10t)			
素材生産チームの人員数(人)	実施前 → 実施後	3	→	2	
実稼働日数(日)	(H21) (H22)	260	→	140	
素材生産性(m ³ /人・日)		7.0		3.4	
素材生産費(円/m ³)	H22計画(実績)	車両系 計画:8,000円(実績:10,500円)(指定市場への運搬まで)			
年間素材生産量	計画	実績	達成率	備考	今後の対応
モデル団地内	800	339	42.3%	森プロ関係のみ (新規導入機械による素材生産)	旧町村単位で集約化実施計画により実施
モデル団地外	7,600	955	12.6%		林道・基幹作業道から支線を延長し利用間伐の実施。
合計	8,400	1,294	15.4%		

上記のほか、プロジェクト推進のために講じる具体的取り組み					
計画	実績	達成度検証方法	今後の対応		
森林施業プランナーの育成(4名)	施業プランナー養成基礎研修修了(3名)	集約化した事業地は全て施業提案書を積極的に活用。	施業プランナー養成基礎研修受講予定(1名)		
定点観測写真撮影	定点観測写真撮影(事業地毎に5箇所)	研修会、報告会などで実施状況を報告。組合HPに掲載	定点観測地点の拡充		
森林所有者に対する意識調査	現地検討会の開催(1回) 座談会の開催(1回)	現地検討会及び座談会での意見を聴取し、森林整備に対する意識の変化を確認。	森林所有者に対する意識調査を座談会により継続実施		
森プロ検討会の開催	森プロ検討会の開催(年1回)	森プロ検討会の開催(回数)	年度計画・進捗状況の報告(年2~3回)		
研修会の開催	3月4日美濃市内で関市・美濃市の森づくり委員を対象に低コスト木材生産システムによる間伐研修会の開催	間伐面積、特に利用間伐面積の拡大	啓蒙普及のための継続開催		
林産班の編成・育成	1班編成し活動中	生産コストの検証	コスト意識の確認・検証		

作業路開設の事前検討	今年度は開設実績なし	タナ地形、崩壊予定地等を考慮しながら事業地単位に新規路線を踏査・設計	当初・出来高設計との比較
一般市民等に対する普及啓発(イベントでのパネル展示、掲示板の設置)	一般市民等に対する普及啓発: 組合総代会及び林業機械修理会にてパネル展示。	森林組合のHPに掲載。総代会、機械修理会でパネル展示。	各種イベントでの啓蒙普及
施業方法が目標とする森林の造成に適合しているかを検証	強度間伐跡地の天然草木の進入状況、立木の生育状況を施業地毎に5箇所設定した定点観測写真撮影箇所の経年変化検証	強度間伐跡地の天然草木の進入状況、立木の生育状況を施業地毎に5箇所設定した定点観測写真撮影箇所の経年変化を森プロ検討会で報告検証	定性的に確認した立木の生育状況、天然草木の進入状況をもとに、中濃森プロ検討会で年1回検証(写真提示による報告)
中濃森プロJV協定量(中濃森林組合から受注を受けたカネキ野村木材店の間伐面積 50ha)	0ha(団地外18.41ha)	カネキ野村木材店の間伐受注面積	目標達成のための集約化体制の強化(施業プランナー:3名→4名)